

コラム

物を大切にすること

私が考える武道における精神性とは『行いには心が伴う』というものです。

これはいかなる行動にもそこには心が伴っているという事で、”行い”を変えてことで”心”を変えていくことが武道における精神性の修養だと考えます。武道を修練する目的として私は『自分を（より良く）変えていく』ことが第一の目的であるべきだと考えています。テコンドーを通じて人をより良く育て、そしてそういった方達が社会に出ていくことで社会をより良く変えていくことが私が本組織を運営する第一の目的であり目標です。

今日は物を大切にすることについての考え方を紹介します。

「家や学校で物を大切にするように教わりましたか？」という問いに対して、ほぼ全ての子供たちが手を挙げてくれています。では「なぜですか？」という問いに対しては、ある程度の考えはあるようですが、声には出して説明は出来ないようです。

それはそれで当然のことで、子供に説明まで求めようとは思いません。

ただ数ある考え方の中で、こう考えてはどうかという考え方を紹介します。

”物”は言葉を発することは出来ません。なのであなたが練習道具のミットやグローブを投げたり、足で動かしても”物”は何も言いません。

しかしこれが”人”であったらどうでしょうか？動かしたいからといって投げたり足で動かして良いでしょうか？それはダメに決まっています。

何が言いたいかというと”物”＝”言葉を発さない人”。つまりは自分より立場が弱かったり、力が弱かったりする人への対応を表しているという事です。

私も年齢も年齢ですので、偉そうなことは言えませんが、それでもそういった目線で多くの”人”を見てきたつもりです。そうやって見ていると、上記の事は大体整合が取れています。物を雑に扱う方は、人の上に立つと目下の者に対して平気で心無い対応を見せたりするものです。

物をどう扱うのかということは、多くの場合が”無意識”です。そして”習慣”です。

ここで知っておきたいことは、”習慣”というものが何を生み出すかという事です。

それは”考え方”を生み出します。

そして”考え方”が”行動”を生み出します。その”行動”が皆さん一人ひとりの人生を作り上げていきます。

つまり、”無意識”に行っていることで、自分の人生が実が決まっていつている、変わっていつているということです。

しかし誰もそのことには気付きません。なぜなら自分の無意識の心のあり方が自分の人生の表舞台に出てくるまで10年かかるからです。なので1日1日の微量な変化には誰も気付きません。

私が伝えたいことは、だからこそ”意識”をして自分の習慣を作る必要があるということです。今回のテーマで言えば、物を大切にできる人は、人（特に目下の者）を大切にできる心が身に付くという事です。

「習慣を作りなさい！」

と言う気はありません。自分がどうなりたいのか、どう生きていきたいのかを考えて行動してみてください。

明るい挨拶は明るく前向きな心を作ります。整理整頓、整えることは自分の心を整えます。身の回りが散らかっていると、知らず知らずドタバタした毎日になっているでしょう。

”道場”とはより良い習慣を身に付ける場所でもあります。

”どう生きていきたいのか”に対して、より良い習慣を身に付けてはどうかと思います。

(社)日本 ITF テコンドー協会
理事長 岸玄二

2019年8月25日 第22回岐阜県テコンドー選手権大会にて